



FUTABA JOURNAL

静岡市葵区追手町10-71
静岡雙葉学園
新聞部
電話(054)255-0305
印刷所 ササキデザイン社

クリスマスを楽しむ

12月21日、クリスマス会が行われた。午前中にキャンドルサービスとミサ、午後には各部活動や高3音楽選抜者による発表が行われ、クリスマス前のひとときを共に過ごした。

キャンドルサービスでは、明かりが消された講堂の中、イエス・キリストの救いを表すキャンドルの光が一人ひとりのキャンドルを通して広がっていく。心温まる時間であった。ミサでは林健久神父様より、人との繋がりについてお話を伺った。午後になると、厳かな雰囲気から一変、楽しい空気に包まれた。各舞台系部活動の発表は、この日のために練習を積

んできたことが伝わった。高3音楽選抜者の発表では、音楽と映像を組み合わせたインタラクティブ作品、ウクライナの作曲家の曲のピアノ演奏などが行われ、こちらも大いに生徒たちを沸かせた。そして最後に行われたのは先生方による演劇。一昨日、去年に続くイエス様誕生の物語に加え、さらに聖書の二つの話を交ぜ合わせた内容であった。

創作ダンス

創作ダンス部は、人気韓国アイドルグループのTWICEの「The Feels」Billie Eilishの「Ginga Mimga Yo」などの曲を披露したダンスで、観客は盛り上



▲キャンドルサービスの様子



▲観客に手を振る創作ダンス部

吹奏楽

吹奏楽部はジャングル・ベルインソングとバックナバーのクリスマスソングを演奏した。

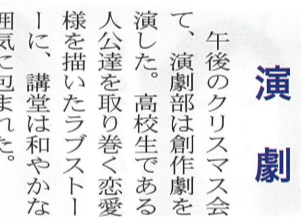
クリスマス会のトップバッターとして演奏した吹奏楽部の練習は一月半前から。音程が取りにくいなどの苦労もあったと言いが、本番では笑顔で演奏することを心掛けたそう。部員は各々が選んだトナカイの力チュシーシャなどを身に付け演奏し、講堂に広がる音色は多くの人を笑顔にさせた。生徒は2曲のリズムに合わせて手拍子をするなどし、演奏を楽しんでいた。

ハーブ



▲講堂に広がる演奏

ハーブ部では、まず「クリスマスソングセレクション」を演奏し、最後には映画「君の名は」の主題歌の一つである「スパークル」を演奏した。部員全員がサンタクロースの帽子を身に付けていたり、司会者二人の掛け合いも工夫されたりと、演奏以外にも楽しく鑑賞することができた。



▲美しい歌声を響かす

演劇

午後のクリスマス会にて、演劇部は創作劇を上演した。高校生である主人公達を取り巻く恋愛模様を描いたラブストーリーに、講堂は和やかな雰囲気に入られた。途中で雑音が入るというアクシデントがあったものの、劇は無事に最後まで演じられた。ユーモアの効いたシーンでは笑い起き、クライマックスでは皆歓声を上げ、劇が終わると会場には盛大な拍手が巻き起こった。



▲ハーブから奏でられる優しい音色

聖歌隊

聖歌隊は「God Rest Ye Merry Gentlemen」「Seasons of Love」「White Christmas」の3曲を披露した。美しく重なり合う高音と低音が聖夜を感じさせる曲や、クリスマスを楽し



▲創作劇の様子

コーラス



▲合唱中の様子

しむポップで明るい曲など様々な曲が披露された。今回の選曲された曲は全て外国の曲。「クリスマス」といえば外国のイメージで、聴いていただく皆さんに外国のクリスマスの雰囲気を感じてほしい」という願いがあったそう。部員はサンタ帽をかぶり、笑顔で講堂をクリスマススムードにした。

コーラス部では、最初部員全員での「ヘイルホーリークイーン」の合唱から始まった。部員がリズムに乗って笑顔で手を叩く姿は、見ている側まで楽しい気分にした。次に、中学生だけで披露された乃木坂46の「シンクロニシティ」のダンスは爽やかなエネルギーに溢れていた。最後には、部員全員での「ディゼニード」の挿入歌「ヴィラン」を披露した。様々なフォーメーションや照明の演出が相まってカッコよく揃った動きには迫力があり圧巻であった。

クリスマス訪問

12月14日に、部活動ごとに、様々な施設でクリスマス訪問を行った。コロナ禍が明け昨年より更に多くの施設へ訪問することが出来た。

待降節



▲クリスマスメッセージを話す生徒

部活動ごとに約1カ月前自分が訪問する施設で行うレクリエーションを考え、準備を重ねた。当日は、それぞれが考えたレクリエーションと共にクリスマスカードをプレゼントした。このクリスマスカードは、生徒一人一人が施設の利用者に向けて、丁寧に作成した。施設の利用者の方々と一緒にレクリエーションをし、共にクリスマスを過ごした。

12月1日から冬休み前まで、クリスマスメッセージに耳を傾ける待降節の祈りを行った。期間の間、毎日代表の方が自分のクリスマスの思い出、クリスマスメッセージを語った。どのメッセージも心温まる話で聖堂が一つとなって祈りを捧げた。参加者それぞれのクリスマスへの思いが強まる大切なひと時となった。

11月27日に卒業生である勾坂緑里さんをお招きして「未来への志を育む講演会」が行われた。新聞部は講演会後、勾坂さんにインタビューを行った。

未来への志を育む講演会

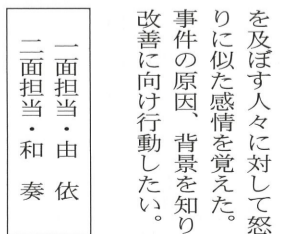
11月27日に卒業生である勾坂緑里さんをお招きして「未来への志を育む講演会」が行われた。新聞部は講演会後、勾坂さんにインタビューを行った。

Q1 メディアに興味を持つきっかけは？
A1 大学時代にベルリンの壁崩壊の事件に立ち会い、歴史が変わる瞬間を見ました。

Q2 情報を伝える側として気をつけていること。
A2 独りよがりにならないこと。ドキュメンタリー番組を制作することが多く、自分の伝えたいことだけでなく多くの人が求めていることを伝えられるよう、気を付けています。また、他人のプライバシーに足を踏み入れてしまうため、失礼なことをしていないようにしています。

Q3 やりがいを感じる時。
A3 視聴者の方から「こんな番組が見たかった。作ってくれてありがとう。」と感謝された時です。

Q4 皆さんへ一言。
A4 皆さんには生き生きとした表情があります。その生き生きとした気持ちと周りの友人や先生や家族のことを大切にしてください。



▲インタビュー中

石の声

訪れを祝い充実した時間を送ることができた。また、高3生と部活に入っていない生徒たちは駿府城の公園清掃を行った。

▼先日の石川県能登半島地震により、現在でも避難所生活を強いられている方々がいる。避難所内でのようなトラブルが発生するおそれがあるのかを検索してみた。▼断水、停電、食料についてや暑さ寒さの調整など様々な問題が挙げられていた。その中で最も気になったのが避難所内の女性に対する性暴力問題だ。限られた空間の中で個人のスペースにしきりが無かったり、あつたとしてもわずかに仕切られている程度だったりとそれぞれのプライバシーが守られていない環境が要因とされている。また、東日本大震災では被害を受けた方が「身のまわりに迷惑がかかる」と被害届を出さないという事例が多々あったそう。▼避難所の運営は主として男性が担っている場合が多い。そのため女性の思いはなかなか伝わらず、改善したいと思う点があつても実行するにはハードルが高い。▼まわりに助けを求めたくても相談できない現状があることに衝撃を受けた。男性の中には女性に体力的にも、社会的にも弱い立場にあると思う人もいるだろう。その弱みにつけ込んで被害を及ぼす人々に対して怒りに似た感情を覚えた。事件の原因、背景を知り、改善に向け行動したい。

一面担当・由依
二面担当・和奏

クリスマススマーケット

12月16日の午後、一般のお客様をお迎えしたクリスマススマーケットが開催された。創立二〇周年が重なる今年にはヒュッテを用いた出店やキッチンカーの導入など昨年にはない新たな企画が続々。各部活動の様子や準備中のエピソードをお伝えする。

午後13時半、校門前に設置されたヒュッテに飾られたプレゼビオが来場者を出迎えた。

創立二〇周年の節目も重なり、今までより遥かにレベルアップして開催された今回。一部の出店団体に用いられたヒュッテもその一つだ。千葉先生と有志の生徒を中心に制作され、出店時の安全性にも工夫を施したという。イルミネーションやクリスマスらしい装飾に包まれた出店団体の数は30以上。部活動に限らず多様なコーナーが設置された。有志の生徒はヴァイオリンとピアノの演奏や一輪車の披露、スプレーアートやダンスのパフォーマンスをした。近距離で生披露されたそれぞれの活動に多くの人が惹きつけられた。また、高1生の音楽選択者によるクリスマスオリジナル作品の販売・披露や高2生のコース制のグルー



▲「星空の教会」に設置されたプレゼビオ

プであるミツバチプロジェクトのはちみつを使った商品販売も行われた。授業から発展させた生徒の出店は魅力に溢れていた。出店団体の中には卒業生や先生方の出店もあった。卒業生によって一つ一つ丁寧に作られたハンドメイド作品や洋菓子を目にする多くの人が立ち止まっていた。先生方の出店では2人の先生が手作りマトリョーシカや多肉植物、サボテンの販売を行っていた。

この他にも多くの有志や団体の活動があった。今年新たに導入されたクレープなどのキッチンカーの出店も盛況で売り切れが出るものもあった。出店者と来場者の会話も盛んに行われ、多くの人の交流の場ともなったクリスマススマーケット。本校で過ごしたクリスマスパーティーの時間は訪れた人にとって温かなプレゼントとなつただろう。

山岳部

山岳部では、焼きマシユマロとココアを提供した。焚き火の火を使い、お客さん自らマシユマロを焼いた。実際に山岳部がキャンプをする際に使っているテントとソロテントが設置され、テントの中に入ることが出来た。ポップや看板は部員の手作りであった。

コーラス部

コーラス部では、輪投げとクイズ大会が行われた。高得点をとるとコーラス部オリジナルのかわいらしいキーホルダーやミラーがプレゼントされた。これらのグッズには、クリスマスを楽しんでほしいという願いが込められた。また、30分に1回部員全員での歌とダンスが披露され、観客が手拍子しながら楽しむ様子が見られた。

ハーブ部

ハーブ部では、演奏と体験会を行っていた。部員がお客様一人ひとりに対し丁寧に指導し、初心者でも分かりやすく説明を聞くことができた。親しみやすい童謡やディズニーなどの曲と一緒に演奏した。お土産には、ハーブや花形のクッキーのセットが用意され、お客様は楽しんで選んでいた。

フォスター×家庭部

フォスターフレンドは今回のクリスマススマーケットで、フェアトレード商品やマラウイへの完全寄付型ホットコーヒーの販売を行った。コーヒーの粉は家庭部の有志が作ったドリッパーパックと共に販売された。ドリッパーパックはロックミシンを用いて作られ、持ち手部分は特に力を入れた。

聖歌隊

聖歌隊はハンドベルとトーンチャイムの楽器体験を行った。楽曲は3曲あり、初めてハンドベルやトーンチャイムを体験した小学生にきわめていた。また、体験をした小学生に向けてクリスマスリースのプレゼントも行った。聖歌隊が着用しているガウンに合わせて赤と白を基調としたリースを配布した。

吹奏楽部

吹奏楽部は、ピロティにて演奏を行った。終始観客が手拍子しながらリズムにのる様子が見られた。ディズニープリンセスメドレーでは、各楽器のソロ演奏で曲により華やかにした。アンコールでは「恋人たちのクリスマス」が演奏された。クリスマス到来を感じさせつつ、観客の心に残る演奏を届けた。

創作ダンス部

創作ダンス部は「ダンシング玉入れ」を行った。ダンスと玉入れを掛け合わせた競技で、2グループに分かれて玉入れをし、サビの部分ではダンスをして勝利を競った。景品は消しゴムとうまい棒。部員たちはミッキーマウスの耳を頭につけ、来場者と共に競技を楽しんだ。

化学部

化学部はスライム作り体験を行った。ふわふわスライムとキラキラスライムの2種類から選択が可能。来場者は白衣姿の化学部員と一緒に、思い思いの色でスライム作りを楽しんでいた。

クッキング部

クッキング部は、部員が作ったクッキーをチョコペンやアザラン、マシユマロなどでかわいくデコレーションする体験を行った。サンタさんやトナカイなど様々なデザインがあった。

美術部

美術部は巨大ガチャガチャ体験を行った。中に入っている景品は部員が一つ一つ手作りした韓国ビーズのストラップ。巨大ガチャガチャ本体も手作りで、普段とは違うダイナミックさを感じることができた。

茶道部

茶道部では、クリスマスらしい「ひいらぎ・リース・サンタ」のお茶菓子を販売した。洋風なクリスマスと日本の伝統的な和洋折衷な茶道部のおもてなしは来場者の方々の心を温かくした。

PEACEプロジェクト

PEACEプロジェクトでは、Shizu Youth for Myanmarという団体と協力し、ミャンマー・ウクライナの伝統料理などの販売を行った。珍しい料理や雑貨が並び、売上金は各団体に寄付された。

ミツバチプロジェクト

ミツバチプロジェクトは今回のクリスマススマーケットで、はちみつやミツロウを使った商品の販売を行った。はちみつやミツロウハンドクリームはちみつ飴など養蜂の魅力が詰まった商品だった。

新聞部

新聞部では、クリスマススマーケット速報を作成した。短時間で、記事や写真を完成させるため事前にアンケートを配った。当日は、多くのお客さんが足を止め、新聞速報を読んでもらった。

青春の軌跡

森みずき先生



● 学生時代に熱中したこと。
 A 趣味に全力で、科学館や博物館によく行ってました。アニメやゲームにも熱中していました。
 Q 教師を志した理由。
 A 大学4年生のときに参加した教育実習で教師という仕事のやりがいと奥深さを感じました。好きなこと、面白いと思うことを共有できるということに魅力を感じました。また、「教える」という行為の先には生徒がいて、その先には保護者がいる。

中学マラソン大会

12月13日、中学マラソン大会が行われた。生徒達はこの日のために授業以外でも朝練などで練習してきた。当日は天気にも恵まれ快晴のもと今までの成果を出し切った。ゴールした際は、それが全力を出し切った表情を浮かべていた。



▲ ゴールテープを切る中三生

神山復生病院訪問



▲ お墓に花を手向ける生徒

12月25日に、高12の有志の生徒17名と5名の先生方と御殿場にある神山復生病院を訪れた。神山復生病院は旧ハンセン病療養施設である。まず始めにハンセン病で亡くなられた患者さんと病院職員と一緒に埋葬されているお墓へお参りを行った。その後ハンセン病の療養施設であった頃の病院の内容が描かれた映画を見た生徒は、明るい雰囲気にも包まれていた。また、現在はホスピスとなっている病院へ行き、歌とクリスマスカードをプレゼントした。生徒は、「最後の一人まで診る」という病院の信念に心を動かされた。

合唱祭

2月6日、中学合唱祭が行われた。合唱コンクールから合唱祭に形を変えての開催は今年で2年目となった。中一は初々しい、中二生・中三生は昨年よりも磨きがかかった歌声を披露した。各クラス、全体合唱のアヴェマリアに加え自分たちで選んだ自由曲を練習してきた。音量、ハーモニー、息継ぎのタイミングを当日のリハーサルまで、合唱祭実行委員や指揮者が中心となつてより良い合唱をすべく調整を重ねていった。合唱を終えた生徒の顔には誇りが滲んでいた。

編集後記

今年度は、「FUTABA JOURNAL」を5回発行することができました。12月16日に行われたクリスマススマーケットでは、新聞速報を作成することができました。ご協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。M・N



▲ 中三東組の合唱

○全日本一輪車競技大会	四〇〇mスプリント	優勝	高2北 築山 亜弥
○静岡県一輪車競技大会	一〇〇mスプリント	優勝	高2北 築山 亜弥
○第七回高校生東アジア小論文コンテスト	入賞	高2北 築山 亜弥	
○インドネシア部門 高1西 江本こころ	ベトナム部門 高1南 大石 百音	中学生ボール優勝	中一南 辻 美瑞紀
○第十五回静岡県体操祭体操競技・新体操の部	新体操の部	優勝	高2西 佐々木菜乃葉
○静岡県高校新聞コンクール	取材力奨励賞	コラム賞	中二東 木脇 寧祐
○東京大学かるた会創立四十周年記念全国大会	C組4位	高1北 酒井菜穂里	
○鎌倉女子大学第十二回お弁当甲子園	優勝	高2北 築山 亜弥	
○全日本一輪車競技大会	優勝	高2南 成島かれん	
○静岡県中部高等学校新人体育大会テニス競技 女子ダブルス	高1北 小山 友歌		
○静岡県中部高等学校新人体育大会テニス競技 男子ダブルス	高1北 友歌		
○静岡魅力探究プログラム「アオハル」放題	優秀賞	高2東 内山祐希 高2西 縄田未希 高2西 紺野向葵 高2南 長浜百加	
○第七十一回静岡県高等学校美術・工芸展	特選	高2西 佐々木菜乃葉	
○第九十一回全国書画展覧会 書の部	金賞	中二東 川端咲羽子	
○全国学生養蜂サミット ショート動画部門最優秀賞	生命科学コース	ミツバチプロジェクトチーム	
○第十二回「共に生きる社会」めぐりて高校生作文コンテスト	学校賞	高2学年 高1東 森 花音	
○税に関する高校生の作文 静岡税務推進協議会長賞	奨励賞	高1東 渡邊里紗 高1西 柴田百華 高1北 中西湖子	
○しずおか新聞感想文コンクール	C級優勝	中二東 濱田 美伶	
○第二十三回全国競技かるた愛知大会	C級4位	中二東 木脇 寧祐	
○令和五年度静岡県青少年読書感想文コンクール 高等学校の部	静岡県教育委員会教育長賞	高3北 柴田 栗奈	
○第六十九回静岡県読書感想文コンクール	入選	高3東 鈴木 美羽	
	特選	中一西 原田みゆう	
	入選	中一南 成田衣美李	